

充実の2学期をがんばろう！

2学期始業日から1か月が過ぎようとしています。残暑もようやく落ち着き、勉強や運動に適した季節になりました。学校では、合唱コンクールに向けて全校生徒盛り上がってきています。29日は皆さんどうぞご来場いただき、子供たちの歌声に感動を覚えてください。さて、2学期始業式で話した内容を振り返ります。

「人生は敗者復活戦」

今年もトレンド入りした、仙台育英高校の須江監督さんの言葉です。

昨年度も「青春ってすごく密」という言葉を残しました。

甲子園の決勝で惜しくも敗れた時のインタビューで話されたこのフレーズは以前徳島県の池田高校の野球部の名将として有名な蔦(つた)監督さんの名言として広く知れ渡った言葉だそうですが、今回、多くの人の共感を得ることになりました。

意味は、簡単に言うと、「人は勝負に勝った時よりも、負けて学ぶことが多いから、負けても次に生かしてまた挑戦すればいい」ということでしょうか。

私も今年60歳になりました。これまでを振り返ってみると、負けて悔しい思いをしたり、失敗して落ち込んだり、挫折して自分が嫌になったりしたことの方が圧倒的に多いです。

動物は、生き残るために、ネガティブな経験を忘れないように脳に刻み込むのでそうかもしれませんが、実際、今回の甲子園でも全て勝ったのは慶応だけで残り全国の甲子園を目指したチームも含めて、他は全て負けています。

今、世の中で頑張っている大人も、ここにいる先生方もおそらく負けたことの方が多く、その中から何回も挑戦して今の状態になっているのだと思います。実際に私も今こうして頑張れるのもそういうことだと思っています。

何をいいたいのか？

年度初めに皆さんにお願いしました。できることを増やしてください、と。

できることを増やすためには、新しいことに挑戦しなければなりません。

この夏休み、どうだったでしょうか。

計画通りにできなかった、やってみただけで失敗したとか、頑張ったけど負けてしまったとか、そのように反省している人が多いのではないかと思います。

大丈夫です、「人生は敗者復活戦」です。

2学期、気持ちを新たにまた頑張ってください。

さて、夏休みに入って、先生方で1学期の取組の反省をしました。その中で、特に、君たちに2学期に頑張ってもらいたいことを2つお願いすることになりました。

1つ目は、聞き取る力をつける、そのために聞く姿勢をきちんとしよう、ということです。気づき、考え、判断し、行動するためには、まずしっかりと聞き取ることが大事です。ぜひきちんと聞く姿勢を心がけてください。

2つ目は、無言清掃の徹底です。

掃除は、自分たちの使う場所を自分たちで綺麗にするということのほか、他の人のために奉仕する心を育てる機会でもあります。この二つを心にこめて、行動してください。

2学期は、さっそく合唱コンクール、2年生は修学旅行、その他楽しみな行事があります。部活動でも新人大会など練習の成果を試す機会が多くあります。

そして、3年生は最大の挑戦である受験という試練に向います。全校生徒のみなさんが、学習、運動、色々なことに挑戦して、多くの学びがあることを期待して私の挨拶とします。

各学年の代表者も“有言実行だ！”

1年 竹山さん

期待や不安がたくさんあった初めての中学校生活が始まってから5か月が過ぎ、いよいよ2学期が始まりました。僕は1学期を振り返って、反省や今後の課題が見つかりました。

まず、自分自身の反省は、自主的に学習に取り組むことです。僕は漢字が苦手でしたが、中学校に入ってさらに難しくなり、小テストでもあまりいい点が取れませんでした。2学期は進んで漢字練習を行い、しっかりと身に付けていきたいです。また、苦手な教科の予習・復習も頑張りたいと思います。苦手な教科を克服し自信をつけることで他の教科の自信にもつながると思います。テスト勉強の取り組み方についても前から少しずつ復習をしてテストでいい点が取れるようにしたいです。

次にクラス全体の課題についてです。学習面は授業態度を良くすることです。元気がいいところ、僕たちのクラスのいいところですが、授業中に近くの人としゃべって先生の指示を聞かないことが多くありました。だから学級委員として自分たちが手本になって真剣に授業に取り組む雰囲気をつくってきたいです。

生活面の課題は休み時間の過ごし方です。授業が終わった後、次の授業の準備をせずに休憩に入ったり、移動教室の時に廊下に



並ぶのが遅くて授業に遅れてしまったりすることがありました。だから自分たちで声掛けをして2分前着席を心がけ、授業に遅れないようにしたいです。そうすることでけじめある行動につながると思います。

2学期は合唱コンクールもあり、みんなの仲を深め、心を一つにして協力し合うことも大切になります。みんなが仲良くなるためには困ったことや分からないことがあるときに、誰でも誰にでも相談できる空気を作ることが大切だと思います。そしてその相談に優しく答えたり、一緒に考えたりすることで相手の気持ちを理解し、また、相手のことを知るきっかけにもなると思います。みんなが誰かのために何かをしようとする気持ちをもって、日々の生活を送れるように、まずは学級委員として率先して行動し、良いクラス作りをしたいです。そして明るい笑顔でいっぱいになるようにしたいです。

2年山口さん

僕は剣道部に所属しています。剣道には「守破離」と言う言葉があります。「守」は師や流派の教え、型、技を忠実に守り確実に身に付ける。「破」は、「破る」という漢字の「破」で他の師や流派についても考え良いものを取り入れ、心技を発達させる。「離」は一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる、という意味があります。



僕はこの「守破離」は学校生活でも当てはまるものだと考えます。なぜかという、1年生の時は先生に言われたことをしっかりと守り生活する。2年生の時は先生などに言われたことを守りながら「これいいな」というものをどんどん取り入れていく。3年生の時は先生に言われる前に動き、こうしたら良いのではないかと自主的に動く。こう考えると1年生の時に「守」、2年生が「破」、3年生が「離」と捉えることができます。

その「守破離」の中の「破」を徹底するため、2学期に行われる合唱コンクールで最優秀賞を目指して実行委員と共に試行錯誤を繰り返して自分たちで練習を積み重ねて本番で自信満々に出し切れるように努力していきます。

そして2学期はとても楽しみにしている修学旅行があります。修学旅行では自分だけでなくみんなが楽しいと言える修学旅行にするために、みんなをまとめていきたいと思っています。他県の文化に触れたり、大阪では長崎の特産品を販売したり、たくさんの楽しいことがあります。

僕たち2年生は時々自分勝手な行動で周りに迷惑をかけてしまうことがありました。夏休みの職場体験では僕たちの生活は色々な支えの上に成り立っていることを学びました。2年生のみなさん、2学期は今まで学んだことを生かし、新たなチャレンジ、守破離のチャンスです。周りのことをみんなが少しずつ考え、行動に移すようにしていきましょう。僕たちならきっとできるはずですよ。そして日常生活を送る中でも困っている人や悩んでいる人が出てくるかもしれません。そこで、相談に乗ったり、仕事で困っているようなら手伝ったりなど

学級委員として頑張っていきたいと思います。そしてみんなとたくさん思い出を作っていきたいと思います。

3年 石嶺さん

1学期、私は部活動を頑張りました。たくさんの新入部員をうれしく思ったとともに教えることの大変さを実感しました。自分自身も最後の総体に向けてメニューを考えたり、悔いなく練習に取り組んだりしました。思うような結果ではありませんでしたが、笑顔を絶やさず最後までやりきり、達成感を得られた部活動でした。



さて、長い夏休みを終え、今日から2学期が始まりました。私たち3年生にとっては、中学校生活も残り7か月となり、入試や卒業までのカウントダウンです。私は3年1組1番なので、最初に卒業証書を受け取ることになります。最初にもらうものとしてふさわしいような学校生活を残り7か月送ります。

そこで、2学期は次の2つのことを頑張ります。

一つ目は学習です。1学期の期末テストでは思うような点数が取れず、少し焦りを感じました。だから2学期は受験生としての自覚を高め今までよりも集中して授業や自主学習に取り組みたいです。

二つ目は、合唱コンクールです。1学期は体育大会やペーロンなど学級で取り組む行事が多く、とても楽しい思い出になったので合唱も成功させたいです。私は合唱で伴奏をします。正確に弾くことはもちろん、みんなが歌いやすいようにと考えながらこの夏も練習をしてきました。1学期の合唱練習ではまだ音や歌詞を覚えられず、苦戦していました。これからの学級練習を通して本番では仲間の歌声と一緒にきれいな合唱を完成させたい。

この2つを頑張りながら学級委員として学級を引っ張って行きたいです。最後に、3年生の皆さん、進路実現に向けて勝負の2学期です。みんなで支え合い、高め合いましょ。

琴海中先輩 松尾先生教育実習を終えて…



私にとってこの3週間は人生の中でも一番短いと感じた3週間でした。皆さんが廊下ですれ違うたびに元気に明るく“こんにちは”と言ってくれたのが

うれしく、がんばるぞという気持ちになりました。2年生では授業を参観したり、授業したりする中でたくさんを学びました。皆さんの授業にのぞむ姿を見て、教師の素晴らしさを改めて感じ、教師になりたいと強く思いました。皆さんが色々なことに一生懸命に挑戦した経験は、未来の自分を助けてくれるものです。一緒に頑張ってください。いつでも声かけてくださいね。